

## 電気コンベクションオーブン / SCO-6 使い方ガイド



### ご使用の前に

---

- 必ず水平に設置して下さい。
- 床清掃時、水が掛からないように設置して下さい。
- 温度が高くなるので、機器の上には物を置かないで下さい。
- 接近する他の機器へ高い温度が伝わらないように設置して下さい。
- 本体下部、側面に上記、油煙等が直接当たる所には置かないで下さい。
- 熱気の少ない所に据え付けて下さい。
- 建築基準法、消防法に従って設置して下さい。

### 《 付属品 》



焼き皿 2枚



焼き網 2枚

電気コンベクションオーブン / SCO-6 運転の操作方法 -1



1. 「電源スイッチ②」を“入”にする  
ファンが回転し、「運転ランプ③」が点灯する。
  2. 「サーモスタット⑤」をご希望の温度に設定して下さい。  
ヒーターの加熱時、「加熱ランプ①」が点灯します。
  3. 庫内がセット温度に達すると「加熱ランプ①」は  
消灯します。以後、サーモスタットの働きにより、  
「加熱ラン①」は点灯、消灯が繰り返され、温度を  
維持するようになります。
  4. 調理する場合は、庫内が設定温度に達してから行います。
  5. 調理時間は「タイマー④」で希望の時間に設定して下さい。  
設定時間に達すると、「タイマー④」のベルが鳴り、  
お知らせします。タイマー④はゼンマイタイマーです。  
※時間設定は、希望時間より一度大きく回した後、  
設定時間に合わせて下さい。  
特に、調理時間が短い場合の設定は時間誤差が出ますので、  
上記操作が必要です。
- ！注意：但し、電氣的に接続されていないため、  
機器の運転は止まりません。**
6. 加熱運転途中、扉を開けばファン、ヒーター共に“切”の  
状態になります。扉を閉めれば、再度運転します。
  7. 調理後、「電源スイッチ②」を切る前に「サーモスタット⑤」  
を“切”にして、しばらくファンを回して庫内を冷却してから  
「電源スイッチ②」を“切”にして下さい。
  8. サーモスタット等の故障で、庫内が異常に温度上昇した場合、  
温度過昇防止が働き、通電が“切”になります。  
ランプは全て消灯します。原因を確認し、処置した後で、  
リセットボタンを押してご使用下さい。

電気コンベクションオーブン / SCO-6 運転の操作方法 -2



9. 魚、ピザ、グラタン等、焦げ目をつける場合は、「上ヒータースイッチ⑦」を“入”にして使用して下さい。その時、「上ヒーター加熱ランプ⑧」が点灯します。
10. 単にオーブンとして利用される場合でも、「上ヒータースイッチ⑦」を“入”にして最上段の棚にパイレッシュを1枚置くことによって、ヒートアップされたオーブンになります。
11. 「冷却スイッチ⑥」は、庫内を急速に冷やす時のみ“入”にして下さい。  
！注意：但し、「サーモスタット⑤」は“切”にして下さい。“入”の状態で使用すると、ヒーターが動作するため冷却しません。
12. 「冷却スイッチ⑥」を“切”の状態で使用しますと、加熱運転中扉を開けばファン、ヒーター共に、“切”の状態になります。
13. 「庫内灯スイッチ⑨」を“入”にすると、庫内灯が点灯します。庫内灯は、「電源スイッチ②」に関係なく点灯します。

**！注意：ファンの回転方向は、庫内より見て反時計回りに（左回り）になっている事を確認して下さい。**

